

日本舞踊「振り帳」の狂言「小舞」適応に関する一考察

塩澤隆允[†] 新保瑛規[†] 廣中亜弓[†] 神山健太[†] 山崎誠也[†] L.A.マルケス[†] 吉野純一[†] 市村 洋[†]
サレジオ工業高等専門学校[†] 東海大学専門職大学院[†]

1. はじめに

日本の伝統芸能の多くは、口伝による対話型稽古が殆どである。狂言はその代表的な例である。しかし、日本舞踊では、稽古時の前後において「振り帳」[1]という紙に記録を取る流派もある(図1)。このことに注目し、まず手書き振り帳を電子化し有用性を検証した後に、全く稽古の記録を取らない狂言の基本所作「小舞」にこの電子化振り帳の適応が可能かどうかを研究する。

本論文では日本舞踊の電子化振り帳の仕様概要と実装済みソフトウェアの試用結果を報告する。そして、その結果に基づき狂言の電子化振り帳版の方式提案を行う。



図1 振り帳の一例

2. 電子化振り帳

2.1 機能概要

本システムの目的は、表示画面の見易さと記述時間の短縮である。画面の右側に1つの動作を記述し、左側に1つの列の内容を記述する。振り帳は語りの歌詞や音のフレーズごとに合わせ、一列におよそ4~6個の動作を記述することが多い。内容によっては一列に記述できる数は可変で

あることが望ましく、本電子化振り帳の機能は、図2で示す下記機能から構成されている[2]。

- ① 確定した絵を挿入する枠
- ② 歌詞を入力する枠
- ③ 振りの図解を入力するパレット
- ④ パレットを編集するための各種ツール
- ⑤ ③の頭・腕・脚の各プルダウンメニュー

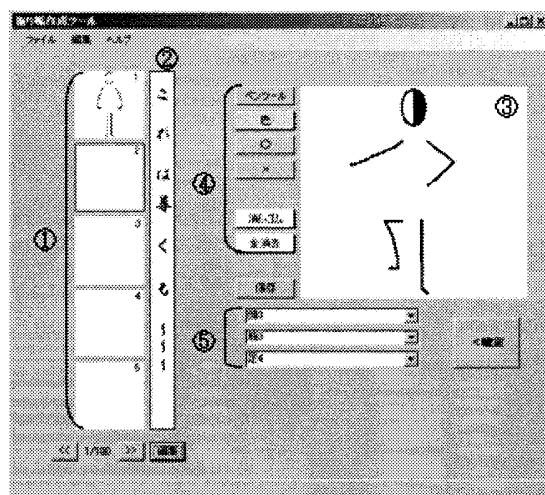


図2 振り帳作成ツールの画面

2.2 試用結果

電子化振り帳を実際に試用した結果を表1に示す。被験者は2名とも、叶流日本舞踊の門弟で、日本舞踊8年以上の芸暦である。被験者AはPCに熟達しているが、Bは殆ど使用していない。

電子化振り帳を使うことにより、手書きと比べて平均約80%の記述時間が短縮されており、電子化振り帳の有用性が示されている。しかし、PCに不慣れな被験者(B)は、熟達した被験者(A)の約2倍の時間がかかった。今後被験者の数を増やし更なるユーザ・インタフェース改善の検討が必要である。

A Study on Applying 'BUYO FURICHO' to 'KYOGEN KOMAI'
by the Aid of IT

Takayoshi Shiozawa[†], Akinori Shimbo[†], Ayumi Hironaka[†],
Kenta Kouyama[†], Seiya Yamasaki[†], L.A.Marques[†],
Junichi Yoshino[†], Hiroshi Ichimura[†]

[†]Salesian Polytechnic, [†]Tokai University

表1 手書きと振り帳作成ツールの記述時間

被験者	演目名	手書き振り帳書き時間	電子化振り帳書き時間	短縮比
A	松の縁	約 300 分	約 220 分	約 27 %
B	藤娘	約 300 分	約 260 分	約 13 %

3. 狂言小舞の口伝・対面稽古の電子化

日本舞踊「振り帳」のユーザ・インタフェースの改善が必要ではあるものの、電子化の有用性は実装・試用により示せた。

次に、この電子化振り帳を口伝による対面指導の「狂言」に如何に適応すべきかを、図3を基にその方式提案を行う。

①は日本舞踊の手書き振り帳であり、これを電子化したものが②の電子化振り帳である。これを完全自動化するために、舞の所作の必要箇所マークを付け、モーションキャプチャで撮影する。そのマーク箇所を抽出・解析しアニメーション化[4]し、開発済み振り帳に必要データを自動貼り付けする(④)。

そして訂正すべき所作を訂正し、その結果をモーションキャプチャに戻し、アニメーション化を再現する(⑤)。この日本舞踊の一連の自動化が完成すれば、日本舞踊の撮影③を狂言⑥で置き換えることにより、狂言「小舞」のIT援用化が実現できる。

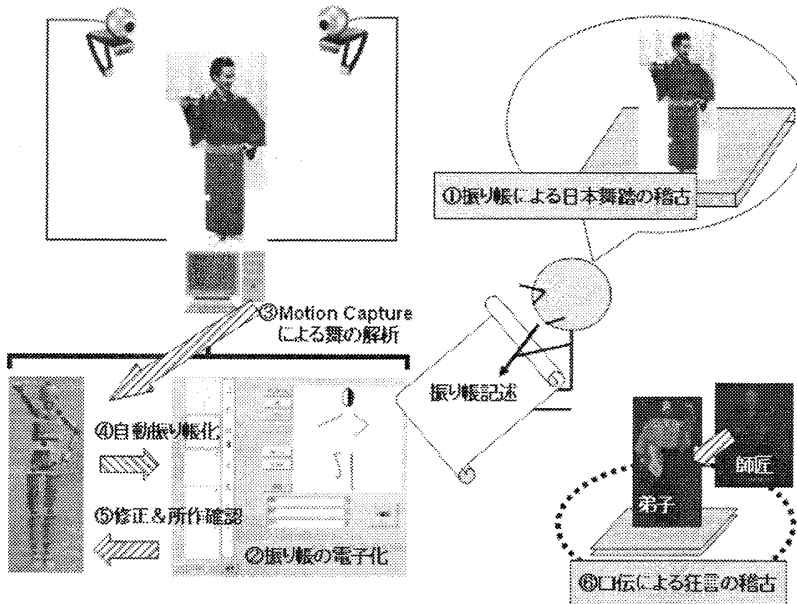


図3 電子化振り帳とモーションキャプチャによる口伝狂言のIT化概念図

4. おわりに

電子化振り帳の有用性が検証できた。今後は、ユーザ・インタフェースの更なる改善及び未実装機能を追加していく予定である。そしてこの電子化振り帳とモーションキャプチャの連係動作の組み合わせにより、狂言「小舞」のIT援用化が可能であることが分かった。

本研究は、科研費交付金「19300289」の補助を受けて行っている。関係者各位に深く感謝する。

参考文献

- [1]花柳千代:『日本舞踊の基礎—実技—』, 東京書籍(1981.01).
- [2]新保瑛規, 廣中亜弓, 神山健太, 山崎誠也, 吉野純一, 市村 洋:『日本舞踊「振り帳」のIT援用記述と狂言「小舞」への適応に関する研究』, 八王子産学公連携機構第7回研究成果発表講演会, 要旨集 pp.120-121 (2007.12).
- [3]山根亮, 戸高千智ら:『動作データの時系列相関行列による舞踊動作解析』, 電子情報通信学会論文誌, pp. 1652-1661 (2005. 08).
- [4]塩澤隆允, 河村辰也, 山崎誠也, 綾井 環, 吉野純一, 市村 洋:『モーションキャプチャ活用に関する研究 その1—日本舞踊の振り帳及び狂言小舞への適応—』, 八王子産学公連携機構第7回研究成果発表講演会, 要旨集 pp.116-117(2007.12).